



信金中央金庫

SCB

SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2020-83

(2021. 2. 26)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048

URL https://www.scbri.jp e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の業種別貸出金動向

—企業向け運転資金の伸び率は、21年1月末に前年同月比26.2%増—

井上 有弘

ポイント

- 2021年1月末の信用金庫の貸出金残高は、前年同月比8.4%増となった。4割弱を占める企業向け運転資金が同26.2%増となっており、資金繰り支援が貸出金全体の高い伸びを牽引している。
- 企業向け運転資金の伸び率は、20年3月末でも前年同月比1.0%増であった。その後、6月末に同14.3%増、9月末に同22.4%増、12月末に同24.1%増と、特に上期中に伸び率を高めていた。
- 20年12月末で運転資金の伸び率が高い業種は、順に、飲食業、情報通信業、生活関連サービス業、娯楽業であった。一方、寄与率では、建設業、製造業などが高くなった。

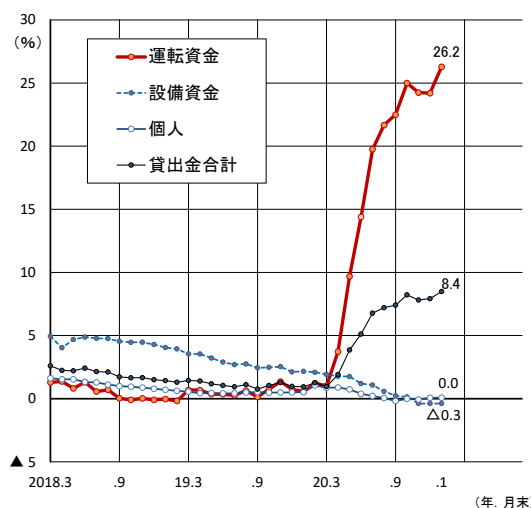
1. 資金繰り支援が高い伸びを牽引

全国254金庫の2021年1月末までの貸出金動向をみると、貸出金全体の伸び率は前年同月比8.4%増となった。内訳をみると、貸出金の4割弱を占める企業向け運転資金が同26.2%増となっており、コロナ禍での企業への資金繰り支援が貸出金全体の高い伸びを牽引している(図表1)。一方、企業向け設備資金は21年1月末に同△0.3%減、個人向けは同0.0%増といずれもわずかな増減率であった。

2. 運転資金は上期中に伸び率を高める

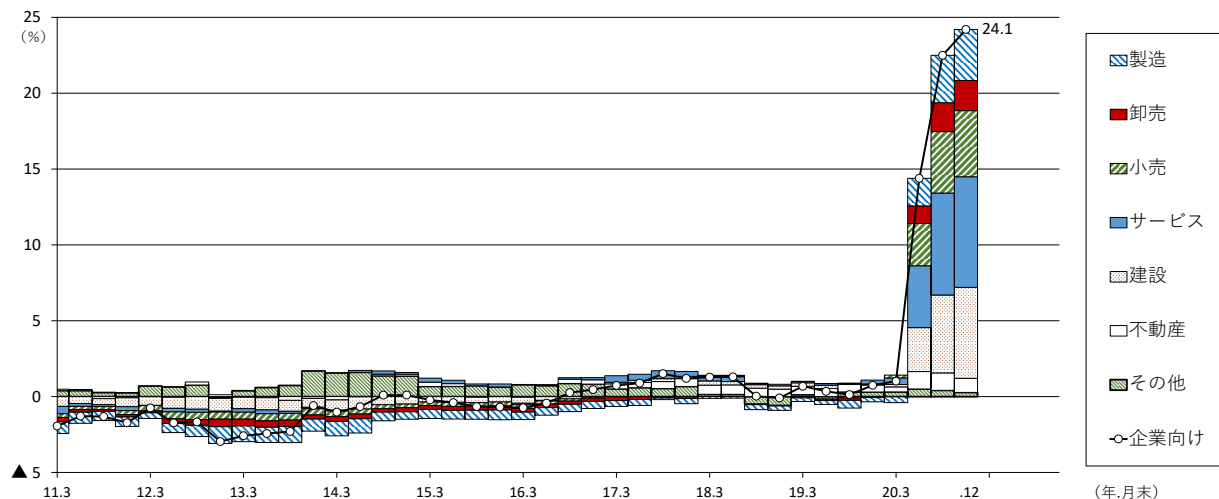
詳しい業種別動向がわかる四半期毎のデータで最近約10年間の企業向け運転資金の動向をみると(図表2)、コロナ禍の前の伸び率は高くても1%程度であり、20年3月末は同1.0%

(図表1) 信用金庫の貸出先別貸出金伸び率(前年同月比)



(備考) 信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

(図表2) 信用金庫の企業向け運転資金の伸び率と主要業種別の寄与度(前年同月比)



(備考) 「業種別貸出金調査表」より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成。業種区分は、主要業種に再編

増であった。その後、20年6月末に同14.3%増、9月末に同22.4%増、12月末に同24.1%増と、特に20年度の上期中に伸び率を大きく高めていた。

主要業種別にみると、飲食店を含むサービス業、建設業、小売業などの寄与度が大きい。

3. 業種別の動向

さらに、詳しい業種別動向をみると(図表3)、20年12月末で運転資金の伸び率が最も高い業種は飲食業で、前年同月比107.8%増であった。外出自粛や飲食店への営業自粛要請に伴い、コロナ禍において倍増している。

次に伸び率が高い業種は、情報通信業で同51.3%増であった。概して都市部の信用金庫で増加額が大きく、テレワークの拡がりなどデジタル化の進展を背景に、前向きな資金需要に伴って増加した面も大きいと思われる。

3番目に伸び率が高い業種は、生活関連サービス業、娯楽業で、同48.0%増であった。理容・美容業、旅行業など個人を対象としたサービス、スポーツ施設・パチンコホール・カラオケボックス・映画館などの娯楽業からなる。20年4月の緊急事態宣言でこれらの業種が急激な売上減に見舞われたことから、20年6月末の時点から高い伸び率を示している。

一方、寄与率では、建設業、製造業などが高くなった。残高構成比の高さから貸出金全体に

与える影響が大きい業種といえる。

特に建設業の寄与率は25.1%であり、企業向け貸出増の約4分の1は建設業による寄与であった。昨年春頃の海外からの建設資材供給の混乱が収まった後も、飲食店、小売・サービス業の新規出店や改装などが減少していることが背景にある。こうした工事を請け負う比較的小規模な建設業者の経営環境が徐々に悪化しているため、信用金庫取引先の運転資金需要を一段と高めていると考えられる。

なお、企業向け貸出のうち最も高い残高構成比(32.9%)を占める不動産業は、コロナ禍前は低金利を背景に設備資金が高い寄与を示してきたが、20年12月末の運転資金の伸び率は同6.9%増と相対的に低くとどまっている。

4. ウィズコロナの本業支援を

新型コロナウイルスの感染拡大から約1年が経過し、対面サービスを中心とした売上急減への対応のみならず、比較的小規模な建設業者の工事減などウィズコロナの経営環境による影響もみられる。信用金庫においては、今後公募が始まる「事業再構築補助金」の活用支援など、「新たな日常」に即した本業支援にも取り組んでいくべきであろう。

以上

※「信用金庫業種別貸出金(地区・都道府県別)」を信用金庫に還元しております。併せてご利用ください。

(図表3) 信用金庫の業種別貸出金の動向(2020年12月末、前年同月比)

(単位:億円、%)

	貸出金											
					うち設備資金				うち運転資金			
	残高	構成比	増減率	寄与率	残高	構成比	増減率	寄与率	残高	構成比	増減率	寄与率
製造業	69,391	13.1	12.4	13.3	12,970	2.4	△ 3.3	△ 0.7	56,421	10.7	16.8	14.0
農業、林業	1,526	0.2	2.4	0.0	570	0.1	1.4	0.0	956	0.1	3.1	0.0
漁業	516	0.0	△ 2.9	0.0	104	0.0	△ 3.1	0.0	412	0.0	△ 2.9	0.0
鉱業、採石業、砂利採取業	563	0.1	△ 0.6	0.0	122	0.0	△ 10.8	0.0	440	0.0	2.5	0.0
建設業	67,342	12.8	27.4	25.0	11,645	2.2	△ 0.3	0.0	55,697	10.5	35.3	25.1
電気・ガス・熱供給・水道業	3,045	0.5	16.3	0.7	2,517	0.4	14.5	0.5	527	0.1	25.4	0.1
情報通信業	4,003	0.7	41.4	2.0	512	0.0	△ 2.0	0.0	3,490	0.6	51.3	2.0
運輸業、郵便業	18,323	3.4	19.5	5.1	5,566	1.0	△ 1.0	0.0	12,756	2.4	31.5	5.2
卸売業	33,624	6.3	16.8	8.3	4,430	0.8	0.5	0.0	29,194	5.5	19.8	8.3
小売業	31,533	5.9	21.8	9.7	6,505	1.2	△ 2.5	△ 0.2	25,027	4.7	30.2	10.0
金融業、保険業	23,425	4.4	2.6	1.0	505	0.0	14.9	0.1	22,920	4.3	2.4	0.9
不動産業	172,997	32.9	1.7	5.1	138,465	26.3	0.5	1.2	34,531	6.5	6.9	3.9
物品賃貸業	3,026	0.5	5.7	0.2	548	0.1	△ 5.6	0.0	2,477	0.4	8.5	0.3
学術研究、専門・技術サービス業	6,106	1.1	28.9	2.3	1,491	0.2	△ 0.2	0.0	4,615	0.8	42.3	2.3
宿泊業	6,805	1.2	11.6	1.2	4,046	0.7	△ 0.1	0.0	2,759	0.5	34.9	1.2
飲食業	13,274	2.5	48.6	7.5	4,107	0.7	△ 9.0	△ 0.7	9,167	1.7	107.8	8.2
生活関連サービス業、娯楽業	13,836	2.6	22.6	4.4	5,260	1.0	△ 4.2	△ 0.4	8,576	1.6	48.0	4.8
教育、学習支援業	3,598	0.6	15.7	0.8	2,164	0.4	3.2	0.1	1,434	0.2	41.3	0.7
医療・福祉	24,424	4.6	8.2	3.2	14,102	2.6	△ 2.0	△ 0.5	10,322	1.9	26.3	3.7
その他のサービス	28,278	5.3	23.6	9.3	8,894	1.6	△ 3.9	△ 0.6	19,384	3.6	42.4	9.9
企業向け計	525,702	100.0	12.3	100.0	224,566	42.7	△ 0.3	△ 1.5	301,136	57.2	24.1	101.5

(備考) 1. 「業種別貸出金調査表」より、信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 網掛けは、各項目での上位5業種

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。